

事業名	大項目 (事業共通)	小項目	効果の指標等	具体的な効果等	受益者	備考 (地域の状況等)
河川	費用便益分析					
	・安全・安心	浸水被害の軽減 ・財産、都市機能	・費用便益比(B/C)	・1.74(年便益B=2,472.8百万円、年費用C=1,424.6百万円) (想定被害額は、治水経済調査要綱に基づき、一般資産、農産物、営業停止損失、公共土木施設等について算定)	想定氾濫 区域内 住民	
	定性的評価等					
	・安全・安心	浸水被害の軽減 ・生命、財産、都市機能	・想定氾濫区域面積 ・想定氾濫区域内人口	・約18 ha ・約20人	想定氾濫 区域内 住民	
			・想定氾濫区域内の重要な施設数 (交通網、ライフライン等)	・主要施設：なし ・災害弱者施設：なし ・交通網、ライフライン等：圃場整備内の農道		
	・活力	地域の活性化 (土地利用への影響)		隣接地には、圃場整備が進んでおり、本河川を改修することにより、良好な農業空間が形成され、農作物の生産性が確保できる。	想定氾濫 区域内 耕作者	
	・快適性 (生活環境)	親水空間の確保 (スポーツ・レクリエーション利用)		河川改修によって水際へのアプローチが容易になり、河川に対する親しみが增大することが期待できる。	周辺住民	
・環境 (自然環境)	生態系への影響		全体の中の一部区間であり、前後に生態系が残っていることや、改修前と同様の構造(河床は土等)であることから、時間が経てば自然とみお筋が形成されるなど、現在の生態系への影響は小さい。	周辺住民		